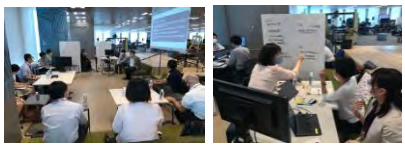


経営方針とFM戦略

経営方針	IFM テクノロジー活用 アジアシフト				コロナ発生	お客さま起点の経営 DXの推進 グループ経営				安全・安心の提供 人手不足の解消 環境負荷低減への貢献		
	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	
本社FM体制	支社単位のFM体制。 本社は総務部門、支社は支社管理部がFMを推進。 イオンディライトグループ各社は、各社ごとにFMを推進。				本社移転 など、ワークスタイル、ワークプレイスの変容 ↓ ニューノーマルオフィスの在り方を検討	イオンディライト単体単位のFM体制。 総務部門がIT部門、本社効率化PTと連携し、イオンディライト単体におけるFMを推進。 イオンディライトグループ各社は、各社ごとにFMを推進。				イオンディライトグループ連結単位のFM体制。 総務部門が経営企画部門と連携し、イオンディライトグループ全体における戦略的FMを推進。		
本社FM施策	<ul style="list-style-type: none"> 間接業務のアウトソーシング サテライトオフィス拡充による営業強化 施設運営維持改善 					<ul style="list-style-type: none"> 事業支援のための「FM情報発信基地としてのオフィス構築」「FM実証実験型オフィスの構築」 生産性向上と多様な働き方の実現のための「ワークプレイス環境改善」「テレワーク（在宅勤務）採用」 迅速な意思決定と経費削減のための「本社効率化」 環境対応としての「省エネ対応」「施設長寿命化」 事業継続体制強化としての「BCP」 				<ul style="list-style-type: none"> FMに関する実験・イノベーション機能の強化 働き方改革のイオンディライトグループ全体での推進 イオンディライトグループ全体での業務標準化、IT標準化 		

本社移転コンセプト



Active Work Design

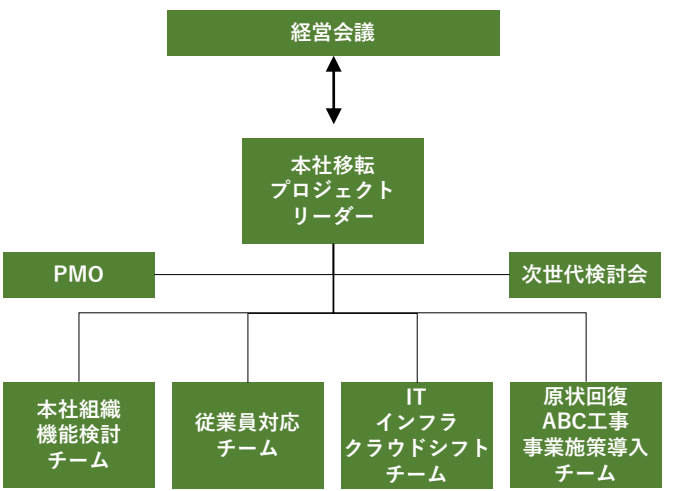
(アクティブワークデザイン)

理念とメッセージ「私たちの働き方について」

これまでの働き方にとらわれず、従業員一人ひとりがそれぞれの働き方を自らデザインし、「人」の力を最大限に発揮できるような環境を創造する。
DXにより、ビジネスに新しい視点を組み込み、お客さま、地域社会に新しい価値を提供する。



本社移転プロジェクト体制



スタッキングプラン

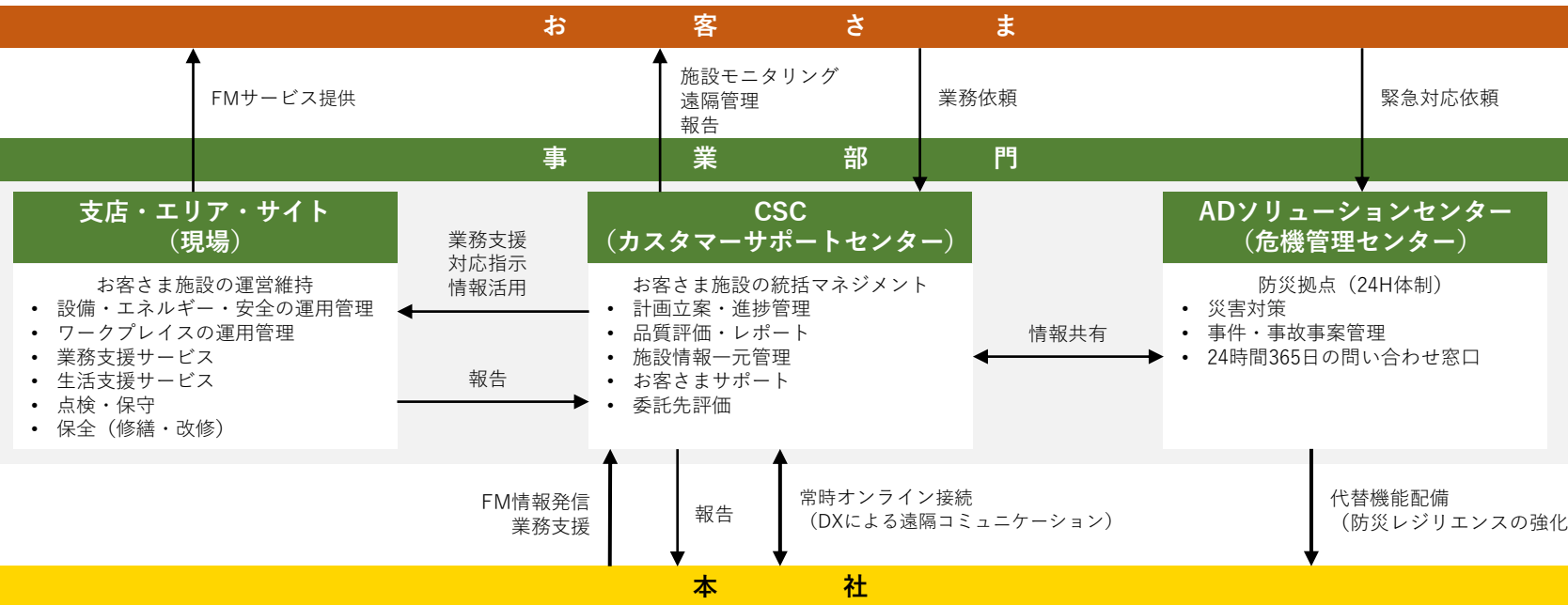
高 セキュリティ性 低	オンライン会議室 フリーアドレス執務室、ハイセキュリティエリア
	エリア別フリーアドレス執務室
	配信スタジオ、休憩室、無人決済販売店、閲覧コーナー リフレッシュエリア
	フリーアドレス執務室、コミュニケーションエリア
	フリーアドレス執務室、ハイフォーカスエリア
	危機管理センター フリーアドレス執務室
ショールーム、ウェビナー視聴会場 商談スペース、多目的エリア	

FM企業としての知見を活かした「本社のスマートオフィス化」

経営方針とFM戦略に基づき、ニューノーマルオフィスとしての本社の在り方を検討。新本社として、築50年以上の築古ビルにFM企業として培ってきたノウハウを結集し、BCP対策や環境対応、オフィスのスマート化・DX化といった、オフィス環境づくりの最新技術・トレンドを盛り込んだ「スマートオフィス」を構築。

多様な働き方を実践できるオフィス「Active Work Design」をオフィスコンセプトに掲げ、従業員一人ひとりが仕事の内容や目的に応じて自らの働き方をデザインし、その能力を最大限発揮できるような最適な働き方を実践できるオフィス環境を構築。

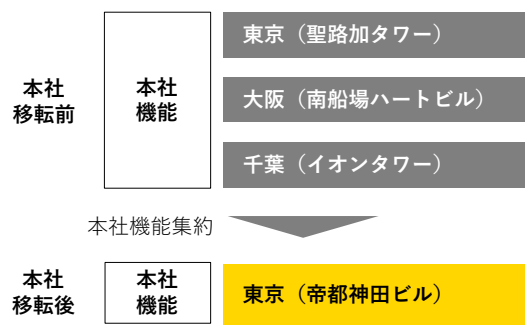
本社の関わり



FM実験の知見を活かした営業提案

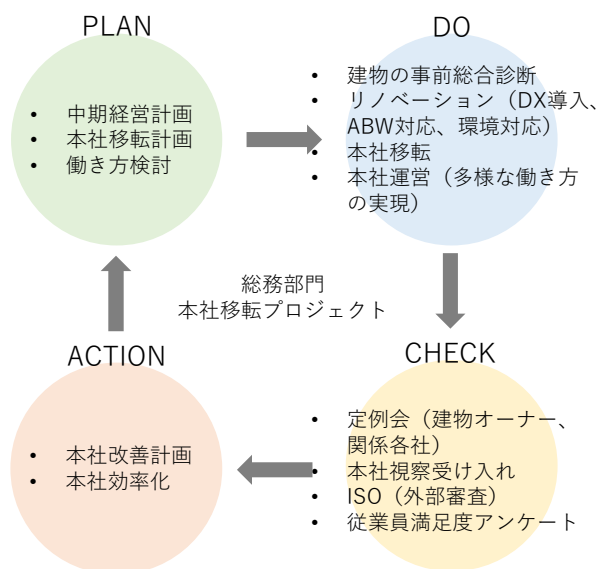
- FM情報発信基地 兼 実験場として、FMの知見を当社のFMサービスに還元することで、顧客提供価値を高める
- DX活用やABW方式のワークプレイスや多様なワークスタイル採用による生産性向上
- 危機管理センターの代替拠点配備による防災レジリエンスの強化

本社効率化



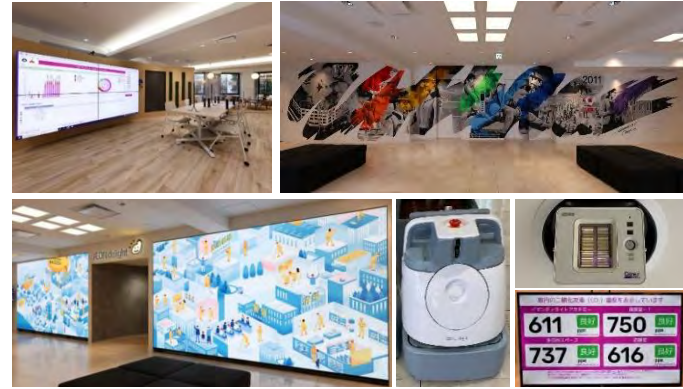
東京、大阪、千葉に分散していた本社機能を集約。更に、これに伴う業務プロセスの見直し、ABWやハイブリッドワークの採用により、生産性を高め、本社効率化を実現。コロナ禍のテレワーク (在宅勤務) の促進によるオフィスの余剰・非稼働スペースの課題も拠点集約により解消し、ファシリティコスト (賃料) や旅費交通費の削減も実現。

本社FMサイクル



2階 ショールーム

- 2階ショールーム (引き画)
- エネルギー管理の見える化
- 当社の起源や存在意義が描かれた壁画
- 大型デジタルサイネージによる情報発信
- 自動清掃ロボット
- 紫外線殺菌装置
- CO2濃度モニターによるモニタリング



DX導入のオフィス



- 国内全8支社との常時オンライン接続。コミュニケーション機会の創出、逐一の情報共有、遠隔地のオフィス同士を結び一体感を醸成。シームレスな情報共有が行える体制により、本社（遠隔）からの事業部門への事業支援を実現。
- 会議室。国内外問わず、各種会議体のオンライン開催を実施。
- 配信スタジオ。省エネやBCP対策、防疫対策、DX導入といったFMの最新トレンドを積極的に配信。
- 本社紹介VR。スマートオフィスとしての本社のFMノウハウ・技術を紹介。営業ツールにも活用。
- オフィスアプリの活用。座席予約、会議室予約、来館者予約、セキュリティ開錠、調光といった各種作業を全てスマートフォンで完結。

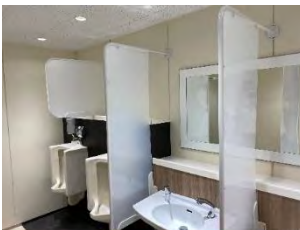
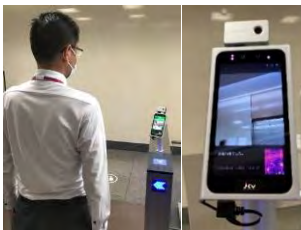
多様な働き方を取り入れたオフィス



- フリーアドレス。部門の垣根を越えたコミュニケーションの活性化、偶発的な出会いの創出。
- 集中ブース
- プレストエリア
- リフレッシュエリア
- タッチダウンスペース。軽作業や軽食、コミュニケーションの場として多方面で活用。



ニューノーマルに対応した安全・安心オフィス



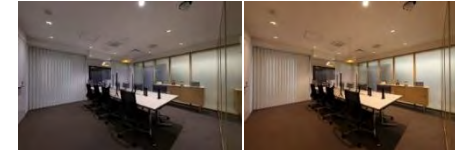
- 顔認証式フラッパーゲート。検温システムを兼ねており、事前登録者のみ入館できる。有人警備、監視カメラも導入しており、高いセキュリティを發揮している。
- 非接触。感染症予防対策、効率性の向上を目的として、オフィス内設備に非接触技術を導入。
- トイレのアクリルパーテーション

BCPを備えたオフィス



- 防災拠点。危機管理センターの代替拠点として、大規模・広域災害に備え、防災レジリエンスを強化。
- 屋上に設置された非常用発電機

ウェルビーイングに配慮したオフィス



- スタンディングワーク
- サーカディアンリズム対応照明。メラトニン分泌量が適正に保たれ、従業員の健康的な生活を推進。
- バイオフィリックデザイン
- 無人決済販売店によるアメニティの充実
- WELL Health-Safety ratingの取得

環境に配慮したオフィス

- 築50年以上の築古ビルのリノベーションによるストック活用。
- オープンプロトコルを活用したビルオートメーションシステム。空調や照明、熱源の各種機器を統合的に制御することで、設備運用効率を大幅に向上。
- 外気を利用した空調の自動制御。外気の冷房利用をシステムによって自動判断。外気導入量の自動調整により、快適性と省エネを実現。
- 微動検知型人感センサー。わずか1cmの動作も検知。「照明が勝手に消えてしまう」「誰もいないのになかなか消えない」といったことを防ぎ、最適な照明制御による省エネを実現。

